

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立松山小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒440-0876

愛知県豊橋市西松山町4番地

E-mail matsuyama-e@toyohashi.ed.jp

Website http://www.Toyohashi-c.ed.jp/matsuyama-e/

幼児児童生徒数 男子 151名 女子 147名 合計 298名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成」を学校理念としており、子どもたちに社会性の基礎となる力と問題解決的な学習を基盤とした確かな学力を育成することを重点目標に、教育活動に取り組んでいる。特に総合的な学習では、ESDを一番身近な「自分たちが住む町の文化や人とのつながりを見つめる場」と捉え、ESDの実践を通して地域を愛する心と自分にできることを実践していく力の育成を目標とした。

具体的には、総合的な学習を柱に、各教科・領域と関連付けながら①地域の伝統文化に係わる活動、②福祉に係わる教育、③防災に係わる学習、④平和に係わる学習を行った。

① 地域の伝統文化に係わる活動

3年生の総合的な学習は、「わっしょい松山」をテーマに取り組んだ。祇園まつりをつくりあげる人々の思いを全員で学んだあと、松山神社と白山比咩神社の祭りなど、同じ課題をもつ子たちでグループを作り調べを進めた。祭りと伝統を守り、地域を愛する人々の思いに迫る中で、何百年も続く祭りを自分たちも守り続けていきたいという思いをもつことができた。

② 福祉に係わる教育

4年生の総合的な学習では、「ハートフル松山」をテーマに取り組んだ。社会福祉協議会に依頼して目や耳、体の不自由な人の話を聞いたり、状況を疑似体験したりしたあと、松山校区のバリアフリーの状況を調査した。その中で、自分たちにもできる福祉活動について考え、実践していこうという思いを高めることができた。

③ 防災に係わる学習

5年生の総合的な学習では、「セーフティ松山」をテーマに取り組んだ。市の防災危機管理課の方を講師に招き、自然災害とその対策について学んだあと、松山校区の防災状況を調べ、防災地図を作り、発信した。さらに、防災活動や支援活動に取り組む人の生き方を学ぶことを通して、自分にできること考え、実践していこうという思いを高めることができた。

④ 平和に係わる学習

6年生の総合的な学習では、「松山小ヒストリア」をテーマに取り組んだ。昔の松山・狭間小学校について学んだあと、各自がテーマを決めて昔の豊橋の様子を調べた。豊橋ユネスコ協会の協力で、戦争体験を聞きながら、今も身近な公園に残る戦争遺跡を解説していただく中で、平和の尊さを実感し、守っていこうという思いを高めることができた。また、豊橋中央図書館の学芸員を講師に招き、産業や戦争、松山の発展に尽力した人の生き方について学ぶことを通して、未来の松山を担う自分たちの役割についても考えた。



① 「わっしょい松山」
初めて手筒花火を持つ
子どもたち



② 「ハートフル松山」
車いす体験をする子どもたち



③ 「セーフティ松山」
防災危機管理課の方のお話を聞く
子どもたち



④ 「松山小ヒストリア」
豊橋中央図書館学芸員による
豊橋空襲の講座

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

| | | | |
|--|--|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー | <input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災 | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動 | <input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input type="checkbox"/> 10. 食育 | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) | |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他() | | |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

| | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度 | |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入) | |

ウ. 活動時間 (複数選択可)

| | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述) | |

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 校区誌「はばたく松山」・ 豊橋市立小学校社会科副読本研修委員会編集「かがやくとよはし」・ 写真集「豊橋いまむかし」「豊橋市の今昔」・ 豊橋市史・ 豊橋公園戦争遺跡パンフレット・ あかね書房「ユニバーサルデザイン」シリーズ・ 借成社「バリアフリーの本」シリーズ・ 学研「いのちと未来を守る防災」シリーズ・ かもがわ出版「3.11 が教えてくれた防災の本」シリーズ <p style="text-align: right;">他 多数</p> |
|---|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

豊橋市は、全市立小中学校がユネスコスクールに加盟しており、市教委の指導のもと、ユネスコスクールとしての活動を教育課程に明確に位置づけている。また、本校では、現職研修の主題を「進んで考え表現する子の育成」と設定しており、それを実現するためのたてとして、各教科・領域で問題解決的な学習展開になるよう、指導方法の工夫に取り組んでいる。特に、総合的な学習では、ESDの理念に基づいて教育課程を作成し、毎年見直しを図り、改善している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

教務主任がESD主任を兼任することにより、各学年部会の現職研修推進委員が中心となってして活動を推進していく体制をとっている。また、児童の活動としてボランティアパスポートの活動を奨励して、全校朝会で表彰して啓蒙するとともに、4年生以下のボランティア活動に対しても、本校独自の表彰を設けている。さらに、委員会の常時活動の中で募金、ペットボトルキャップ・アルミ缶の回収などに取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本校では、保護者や児童、教職員に行う学校評価の中に、ユネスコスクールとしての活動に関わる項目が設定されている。その結果、保護者は、学校が「地域の特性をふまえた特色ある教育活動を行っている」「生命、環境についての学習を充実し、豊かな心を育てている」と高く評価していることが分かった。また、ほとんどの児童が「授業が楽しい」「進んで勉強をしている」「調べたり本を読んだりすることが好き」と答え、成果が上がっていることが分かった。一方、発言・発信に関する項目については、できているとの答えが児童の70～80%であることが今後の課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学級通信や学年便り、学校便り「ふれ愛だより」や学校新聞、ホームページなどで、活動の様子を発信している。紙媒体は、保護者に配付するだけでなく地域に回覧することもしている。これにより、ESD活動だけでなく、学校の教育活動全般に対する理解が高まり、協力体制も強化されていると感じる。また、本年度は「ユネスコスクール豊橋大会」で本校の活動についてポスター発表をした。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)
※チェック事項 2-3 に対応

総合的な学習の年間計画の中に、4年生は社会福祉協議会による車いす体験やガイドヘルプ等が、6年生には豊橋ユネスコ協会による平和教育と豊橋市中央図書館の学芸員による歴史教育が位置づけられている。また、1～4年生の図工の年間計画の中に、「まちなか活性化プロジェクト～お店をつくろう～」を位置づけ、地域の団体「sebone 実行委員会」と協働して作品の制作・展示に取り組んでいる。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

本年度は「ユネスコスクール豊橋大会」に複数の教職員が参加することで、市内の学校と交流したり、国内の先進的な活動について学んだりすることができた。しかし、国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成はできていないのが現状である。今後は、ユネスコスクール交流会に積極的に参加し、ネットワーク形成を図るよう検討していく。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

ESDの理念に基づいて教育課程を作成した総合的な学習を中心に、問題解決的な学習を展開していったことで、子どもたちの学習意欲が高まり、アンケートで90%以上の児童が「学校の授業が楽しい」と答え、保護者においても「先生は熱心にわかりやすい授業を工夫している」との評価が90%以上であった。これにより、保護者・地域の学校に対する信頼がさらに高まり、教育活動全般に大変協力的な関係を築くことができている。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- ・生活科:地域連携
 - 1年生「みんなで探検 レッツゴー」
 - 2年生「このまち大すき」
- ・総合的な学習
 - 3年生「わっしょい松山」:地域の伝統文化
 - 4年生「ハートフル松山」:福祉
 - 5年生「セーフティ松山」:防災
 - 6年生「松山小ヒストリア」:平和, 歴史・未来
- ・図工:地域連携
 - 1～4年生「お店をつくろう」
- ・特別活動:地域連携, 環境
 - 花いっぱい活動, 530活動, アルミ缶・ペットボトルキャップ回収